

# 1. これまでの経緯

嵐山や東山で実施する観光地交通対策とともに、市内への自動車流入抑制と公共交通の利用促進を目的に、パーク&ライドを継続実施

## <平成28年度の取組>

- 市内12箇所を通年パーク&ライド駐車場で誘導及びその効果検証を実施
- 市内7箇所で開催
- 臨時駐車場利用者のパーク&ライドを利用した理由は、道路や観光地周辺の駐車場が混んでいるからと回答した方が約6割
- 臨時駐車場利用者のパーク&ライドの認知度は約5割(全国調査のwebアンケート調査結果では約3割)

## <平成29年度の取組>

- ETC2.0データ等の分析によるドライバーの動向を踏まえ、市内への自家用車の流入抑制に効果的な位置にある、大規模なパーク&ライド駐車場(7箇所)を重点利用促進駐車場として選定
- 市内2箇所で開催
- 11月を中心に、ラジオ放送や国道等の道路情報板を活用した広報を実施
- カーナビによる満空情報の提供、路上看板やルート検索アプリを活用した誘導等を実施
- 臨時駐車場利用者のパーク&ライドの認知度は約6割(全国調査のwebアンケート調査結果では約3割)

## <本資料で扱う内容>

上述の対策等を経て以下について示す。

- ①秋の観光シーズンにおける渋滞対策内容整理
- ②各種データを活用した渋滞状況の分析
- ③各種調査結果を踏まえた渋滞対策への効果検証

## 2. ソフト施策の実施状況(嵐山地区・東山地区)

○嵐山地区・東山地区では、交通渋滞などの交通問題・歩行者の安全性の低下を解決するため、H16年以降、様々なソフト施策を実施。H28年は、パーク&ライド駐車場の拡充、臨時交通規制、誘導の強化等の施策を実施。  
○H29年は重点利用促進駐車場を選定し、看板誘導を強化。観光バス予約制駐車場追加、多言語案内も実施。

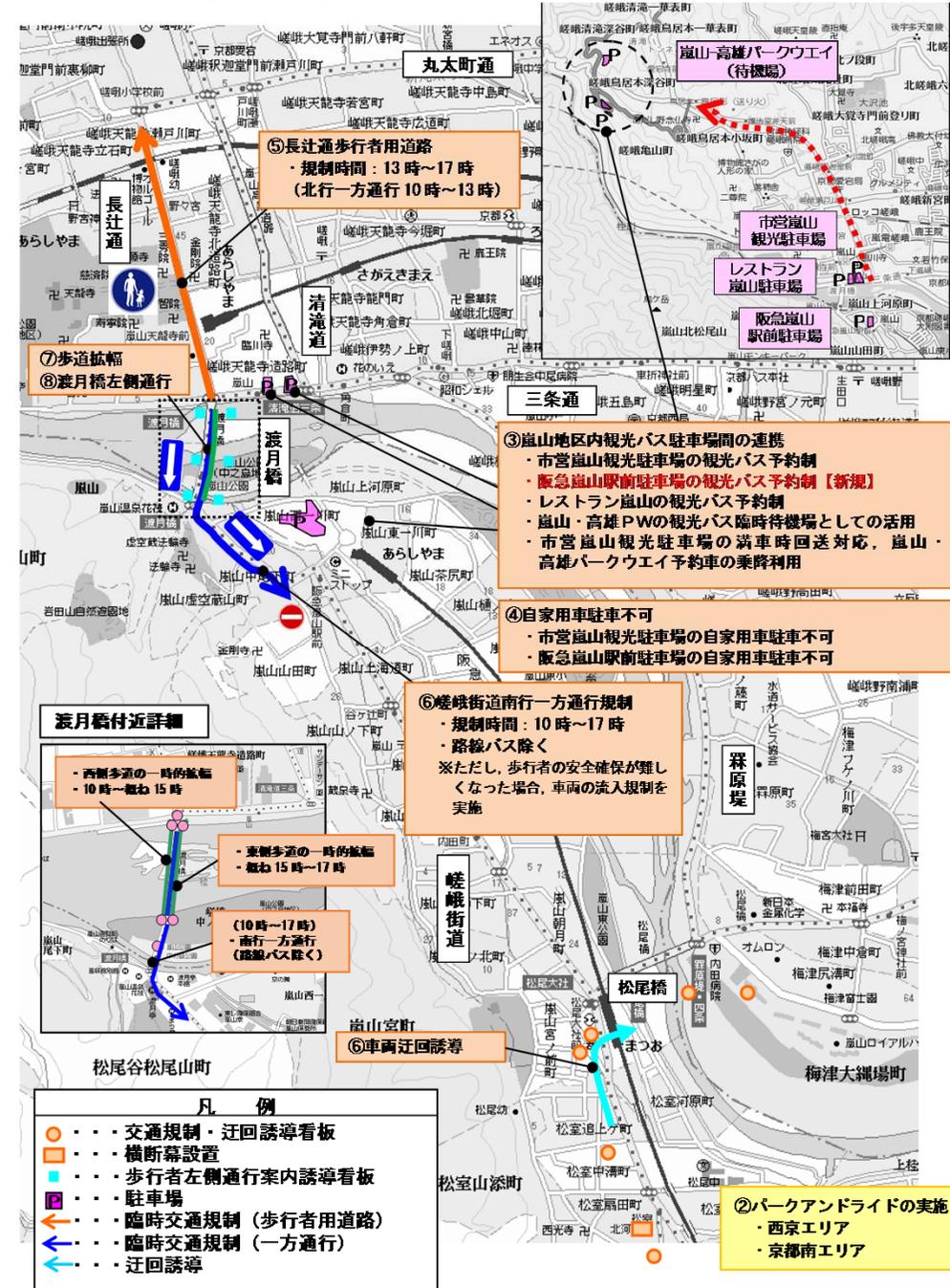
対策メニュー		嵐山地区		東山地区	
		H28	H29	H28	H29
広域的な交通対策	公共交通の利用促進に向けた事前広報・PRの実施(事前広報の実施等)	○	○	○	○
嵐山・東山周辺地区での交通対策	P&Rの実施(臨時P&R駐車場の設置、通年P&R駐車場の確保・広報等)	○	○	○	○
	流入車両の迂回誘導(道路情報板、P&R駐車場への誘導看板等) ※市内中心部等への流入抑制に効果的と考えられる重点利用促進駐車場(7箇所)を選定し、看板等による誘導を強化	○	◎	○	◎
	シャトルバスの運行(京都駅～五条坂)			○	○
嵐山・東山地区での交通対策	観光バス予約制、観光バス臨時待機場設置等	○	◎ ※阪急嵐山駅前駐車場	○	○
	自家用車の流入抑制(自家用車駐車不可)	○	○	○	○
	臨時交通規制(歩行者専用化、一方通行化、右折禁止等)	○	○	○	○
	バス停の分離・移設			○	○
	路上駐車対策(午前中の荷捌きの協力依頼等)			○	○
	警備・誘導の実施(交通誘導員の配置、チラシ配布等)	○	○	○	○
	タクシー乗降場の利用適正化(誘導員配置、チラシ配布等)			○	◎ ※多言語案内

※施策実施日:H28年11/19(土)、20(日)、23(水・祝)、26(土)、27(日)  
H29年11/18(土)、19(日)、23(木・祝)、25(土)、26(日)

■凡例 ○:対策の実施 ◎:対策の強化(実施箇所追加)

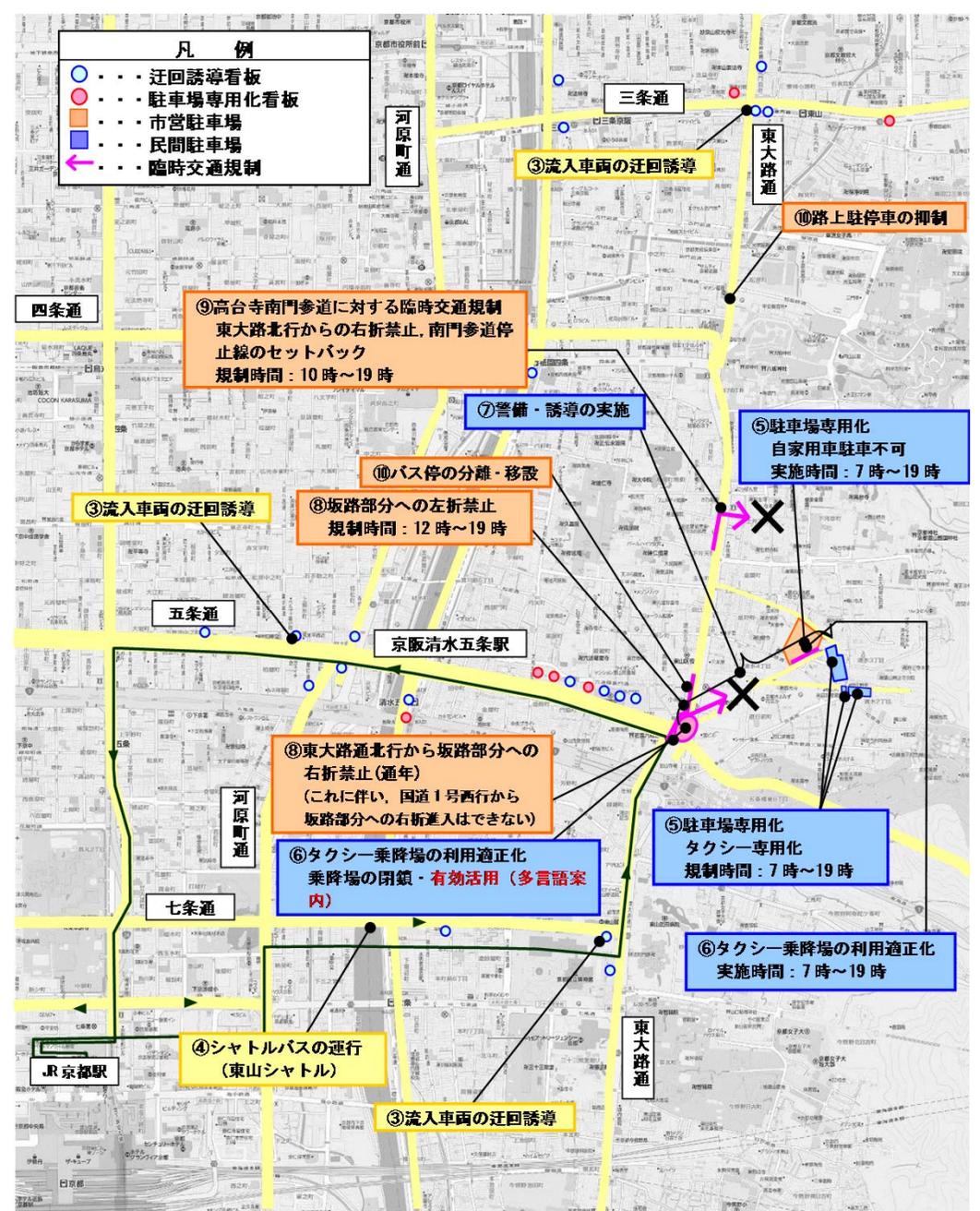
# 2. ソフト施策の実施状況(嵐山・東山地区)

■H29ソフト施策の概要図(嵐山地区)



※出典：第43回嵐山交通対策研究会資料(H29.9.12)

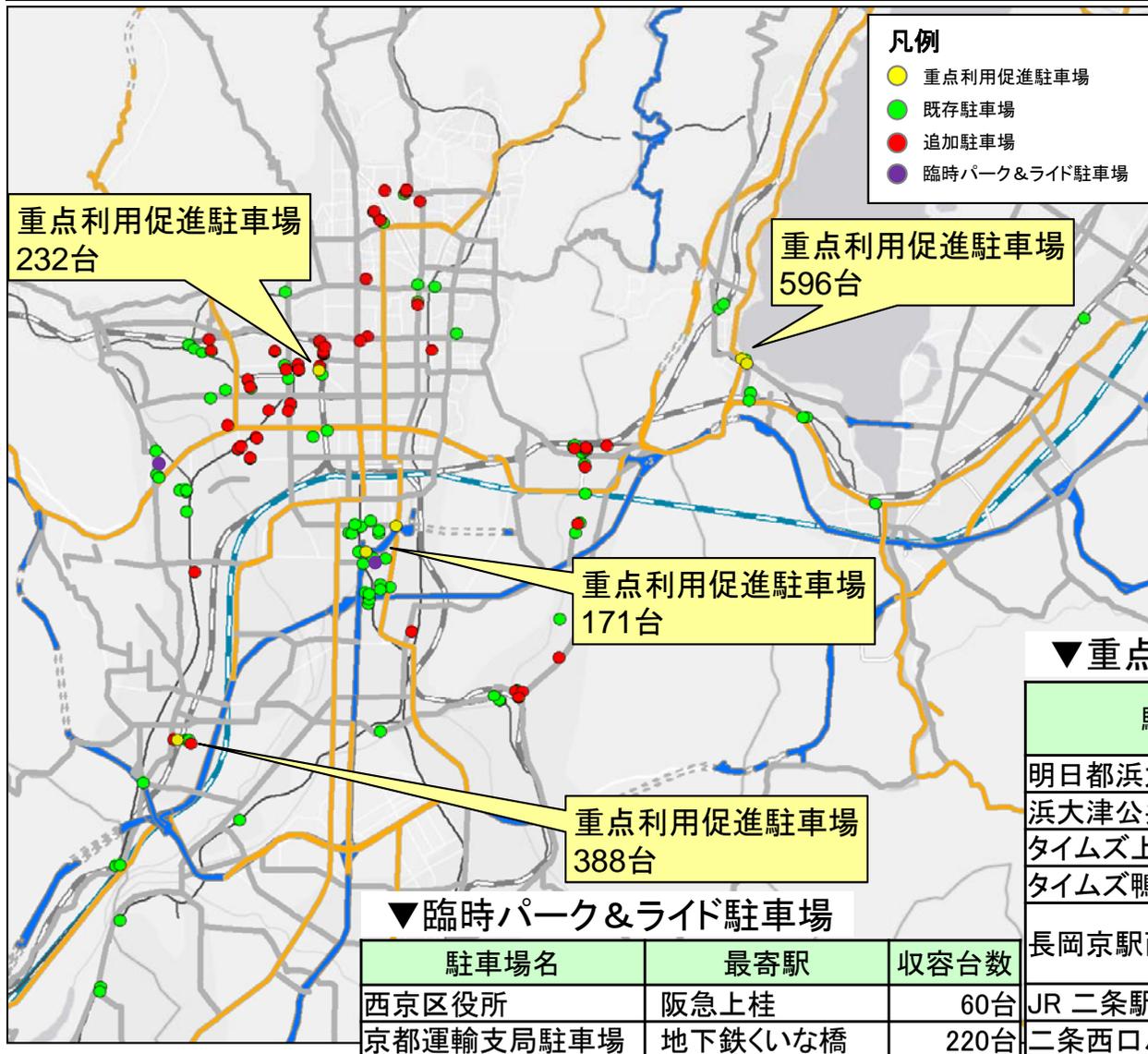
■H29ソフト施策の概要図(東山地区)



※出典：第33回東山交通対策研究会資料(H29.9.19)

## 2.ソフト施策の実施状況

- 京都市内外25エリア139駐車場において通年パーク&ライドを実施。駐車可能台数は7,794台に増加。臨時パーク&ライド駐車場は、市内2エリア2駐車場(280台)を確保。
- 市内中心部等への流入抑制に効果的と考えられる重点利用促進駐車場(7箇所)を選定し、看板等による誘導を強化。



### ▼重点利用促進駐車場

駐車場名	最寄駅	収容台数	経由想定 インターチェンジ
明日都浜大津公共駐車場	京阪びわ湖浜大津	349台	大津(名神)
浜大津公共駐車場		247台	
タイムズ上鳥羽ランプ	地下鉄十条・くいな橋 近鉄上鳥羽口	111台	京都南(名神)
タイムズ鴨川西ランプ		60台	
長岡京駅西駐車場	JR 長岡京	388台	大山崎(名神) 長岡京(縦貫通)
JR 二条駅前パーキング	地下鉄・JR 二条	129台	大原野(縦貫通) 沓掛(縦貫通)
二条西口パーキング		103台	

### 3. ソフト施策実施による効果検証(効果検証の概要)

○嵐山・東山地区で継続的に実施しているP&R等のソフト施策について、以下の視点で効果検証を実施する。

効果検証の視点	評価指標	使用データ
・P&R等のソフト施策の実施により、渋滞が改善した路線・地域があるか	・旅行速度	・ETC2.0データ
・主要渋滞箇所、駐車場付近の混雑状況に改善がみられるか	・渋滞状況	・現地調査結果
・P&Rに関して、人々の意識に変化があるか	・P&Rの認知度等 ・P&R利用者満足度	・アンケート調査結果 ・WEBアンケート調査結果
・自動車利用者の経路の変化があるか	・利用経路の変化	・ETC2.0データ

# 3. ソフト施策実施による効果検証(嵐山地区での旅行速度)

○嵐山地区の旅行速度状況をみると、渡月橋等の嵐山地区内や、嵐山地区へのアクセス路である森原堤(桂川東側)、三条通等において旅行速度が低下している。

○丸太町通等の一部区間においては速度向上が確認されるものの、引き続き対策が必要な状況である。

## ■旅行速度状況【ETC2.0プローブデータ】

(H28.11.19(土),20(日),23(水・祝),26(土),27(日)、10~17時)



※天候(気象庁HPより)

- H28.11.19(土) : 雨のち曇
- H28.11.20(日) : 曇
- H28.11.23(水・祝) : 曇時々晴
- H28.11.26(土) : 晴のち雨
- H28.11.27(日) : 雨のち曇

## ■旅行速度状況【ETC2.0プローブデータ】

(H29.11.18(土),19(日),23(木・祝),25(土),26(日)、10~17時)



※天候(気象庁HPより)

- H29.11.18(土) : 雨のち曇
- H29.11.19(日) : 晴時々曇
- H29.11.23(木・祝) : 晴一時曇
- H29.11.25(土) : 曇時々晴
- H29.11.26(日) : 曇

### 凡例

● 主要渋滞箇所

### 旅行速度

- : 5km以下
- : 5km/h~10km/h以下
- : 10km/h~15km/h以下
- : 15km/h~20km/h以下
- : 20km/h~

※資料:ETC2.0プローブデータ

# 3. ソフト施策実施による効果検証(嵐山地区での渋滞状況・要因)

○観光交通の集中などにより、渡月橋北詰、清滝道三条、三条萩原堤を結ぶ区間で渋滞が発生している。  
 ○萩原堤四条、松尾大社前においても観光交通の流入により渋滞が発生している。  
 ○渋滞要因として、観光交通の集中の他、歩行者の影響、バスの右折流入、踏切等の影響が認められる。



写真① 歩行者が多く、渡月橋北詰交差点は混雑していた。



写真② 大型バス駐車場は満車の状態が続いていた。



写真③ 駐車場に入る右折待ち車両が後続車両を阻害



写真④



**凡例**

- 主要渋滞箇所
- Ⓟ 駐車場

**旅行速度**

- 赤線 : 5km/h以下
- ピンク線 : 5km/h~10km/h以下
- オレンジ線 : 10km/h~15km/h以下
- 黄色線 : 15km/h~20km/h以下
- 青線 : 20km/h~



写真④ 萩原堤上で渋滞が発生



写真⑤

先の阪急嵐山線の踏切等の影響により、渋滞が発生している

松尾大社前の先詰まりにより渋滞が発生している

■ETC2.0:H29.11.18(土),19(日), 23(木・祝),25(土),26(日)、10~17時

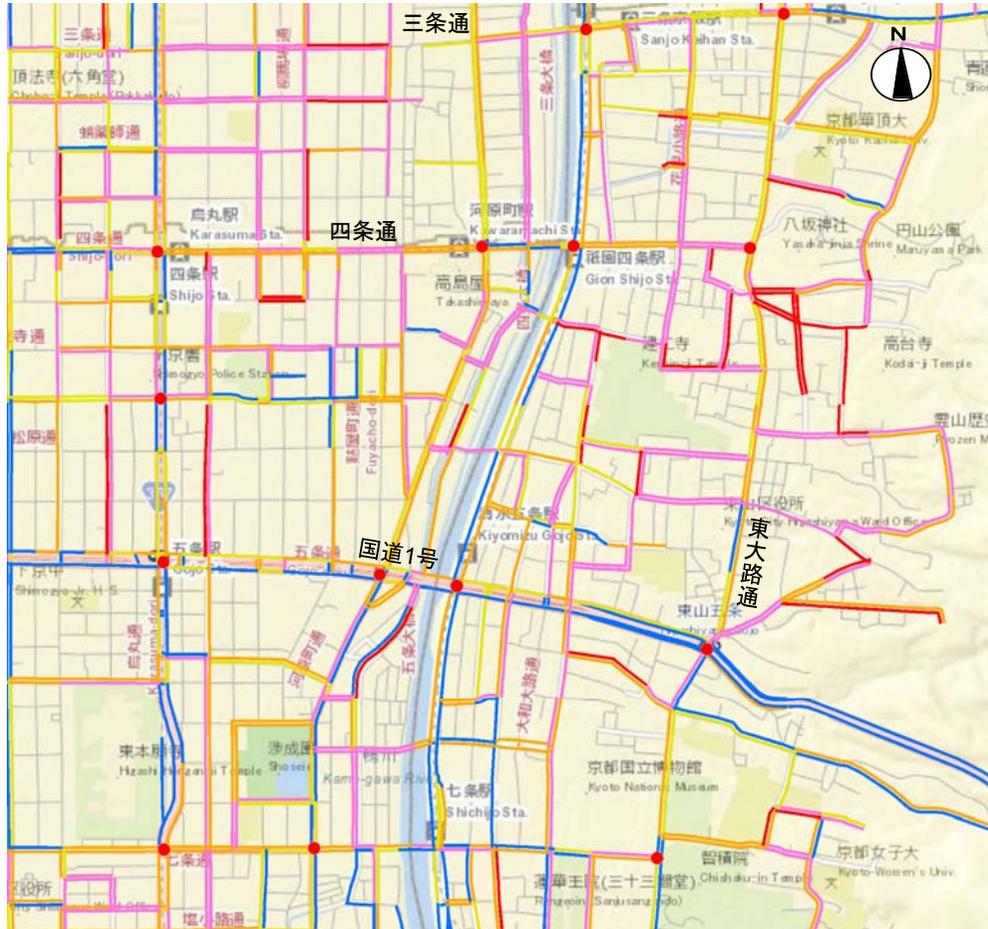
■写真撮影日:H29.11.25(土)

### 3. ソフト施策実施による効果検証(東山地区での旅行速度)

○東山地区の旅行速度状況をみると、東山地区内や、東山地区の周辺道路(国道1号、四条通、三条通等)の主要渋滞箇所への流入部において速度低下が発生しており、引き続き対策が必要な状況である。

#### ■旅行速度状況【ETC2.0プローブデータ】

(H28.11.19(土),20(日),23(水・祝),26(土),27(日)、12~19時)

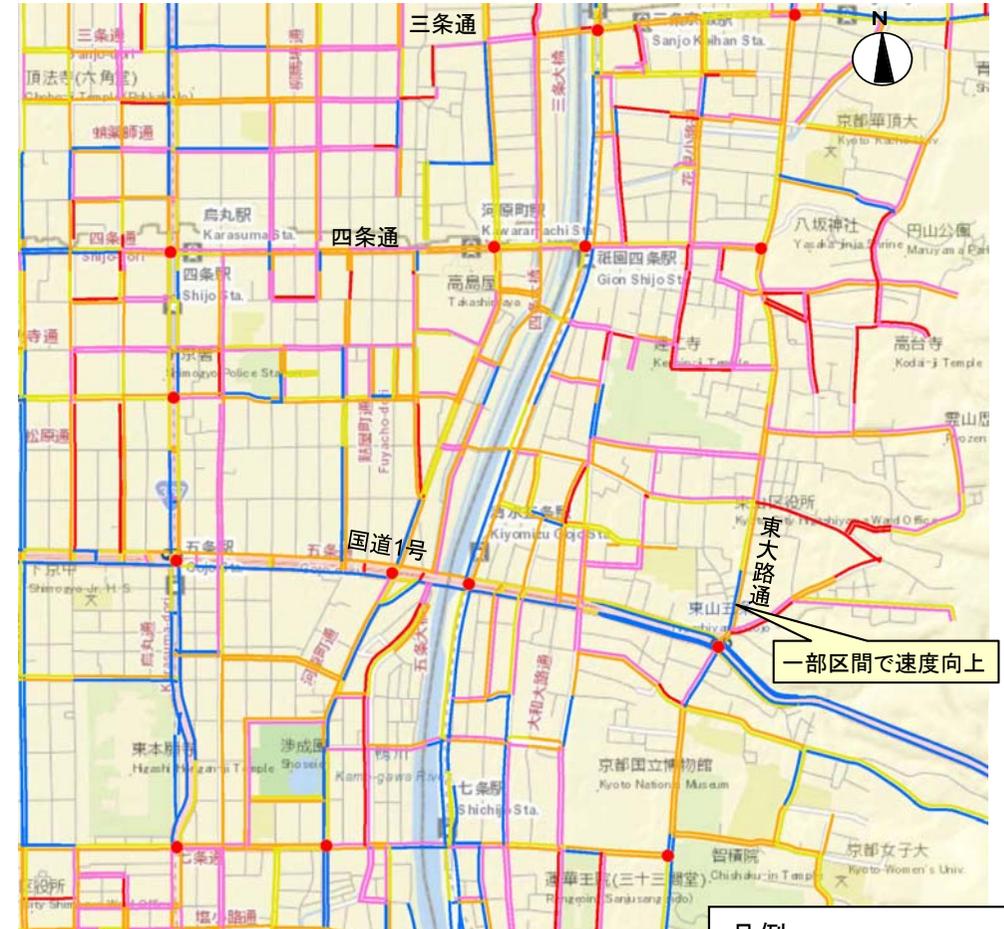


※天候(気象庁HPより)

H28.11.19(土) : 雨のち曇  
 H28.11.20(日) : 曇  
 H28.11.23(水・祝) : 曇時々晴  
 H28.11.26(土) : 晴のち雨  
 H28.11.27(日) : 雨のち曇

#### ■旅行速度状況【ETC2.0プローブデータ】

(H29.11.18(土),19(日),23(木・祝),25(土),26(日)、12~19時)



※天候(気象庁HPより)

H29.11.18(土) : 雨のち曇  
 H29.11.19(日) : 晴時々曇  
 H29.11.23(木・祝) : 晴一時曇  
 H29.11.25(土) : 曇時々晴  
 H29.11.26(日) : 曇

#### 凡例

● 主要渋滞箇所

#### 旅行速度

■ :5km以下  
 ■ :5km/h~10km/h以下  
 ■ :10km/h~15km/h以下  
 ■ :15km/h~20km/h以下  
 ■ :20km/h~

※資料:ETC2.0プローブデータ



### 3. ソフト施策実施による効果検証(臨時P&R利用者アンケート:京都市)

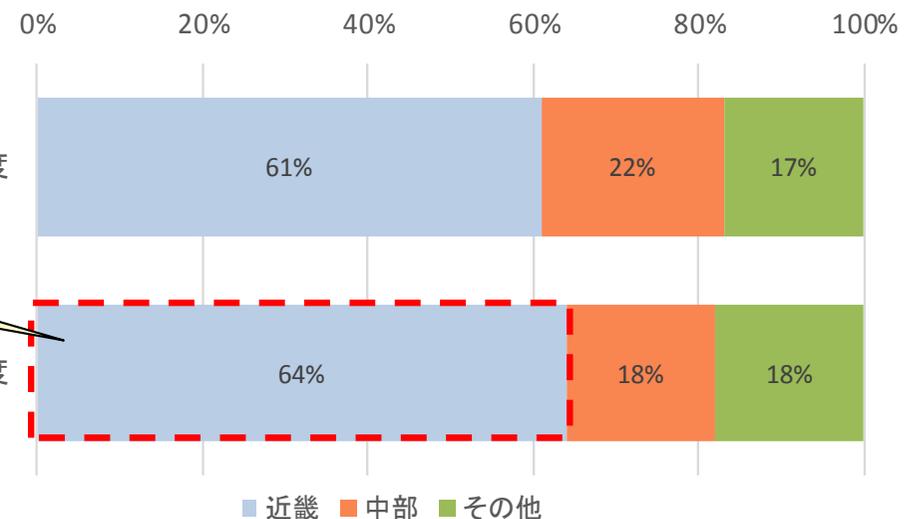
○パーク&ライド利用者の居住地域は、近畿地方が約6割、中部地方が約2割を占める。  
 ○近畿地方の内訳では、大阪府、京都府、兵庫県の利用が多く、約8割を占める。

#### ■パーク&ライド利用者属性

※P&R駐車場利用者へのアンケート結果

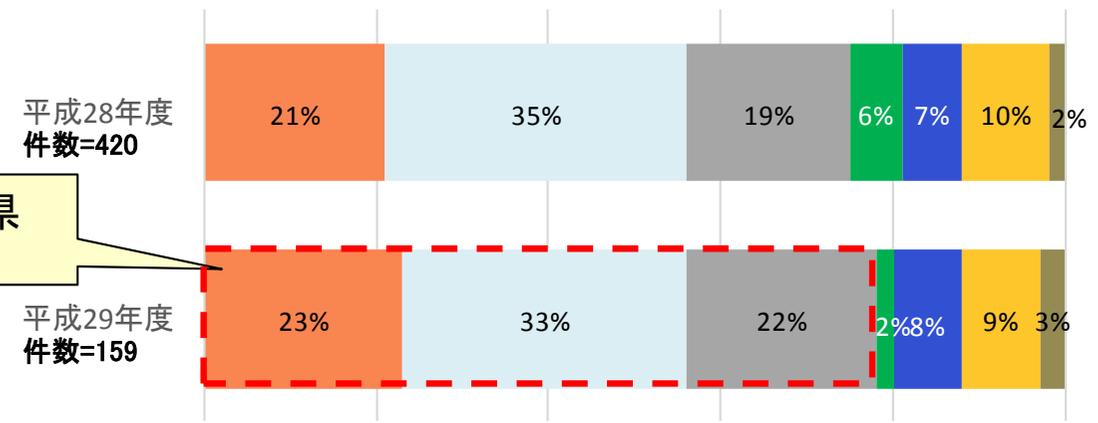
#### 【居住地域】<全体>

近畿地方が約6割



#### <近畿地方内訳>

大阪府、京都府、兵庫県の利用が約8割



京都府 大阪府 兵庫県 滋賀県 奈良県 三重県 和歌山県

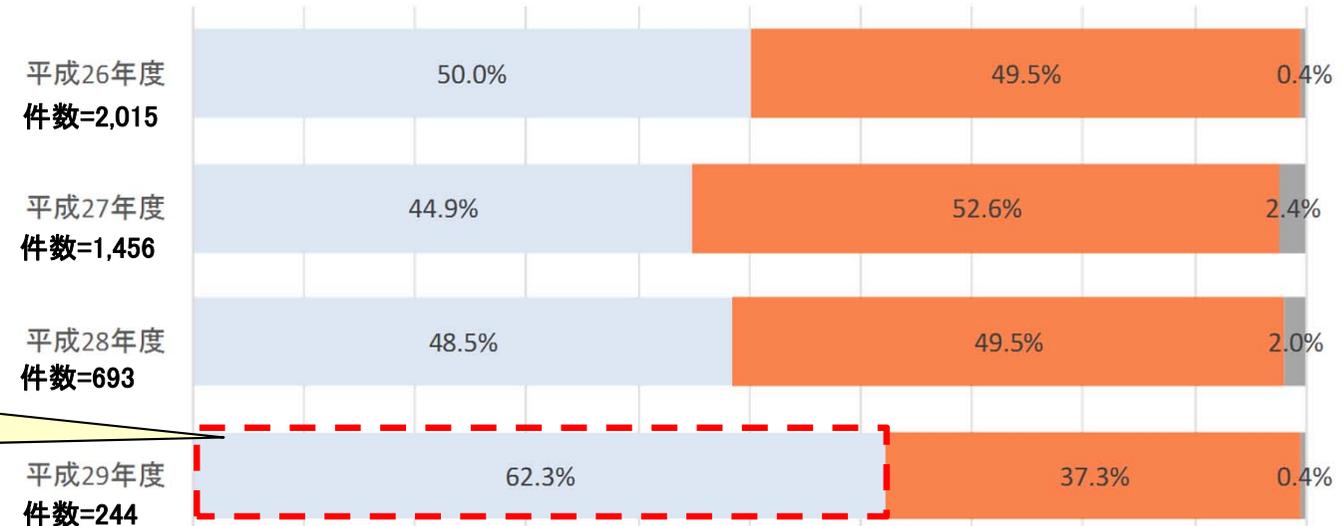
# 3. ソフト施策実施による効果検証(臨時P&R利用者アンケート:京都市)

○「パーク&ライド」という言葉を知っていたと答えた人は、約6割であり、例年と比べ認知度は向上している。  
 ○認知のきっかけは、「京都市ホームページ」が約4割、続いて「屋外の看板」が約3割を占める。

※P&R駐車場利用者へのアンケート結果

## 【パーク&ライドの認知度】

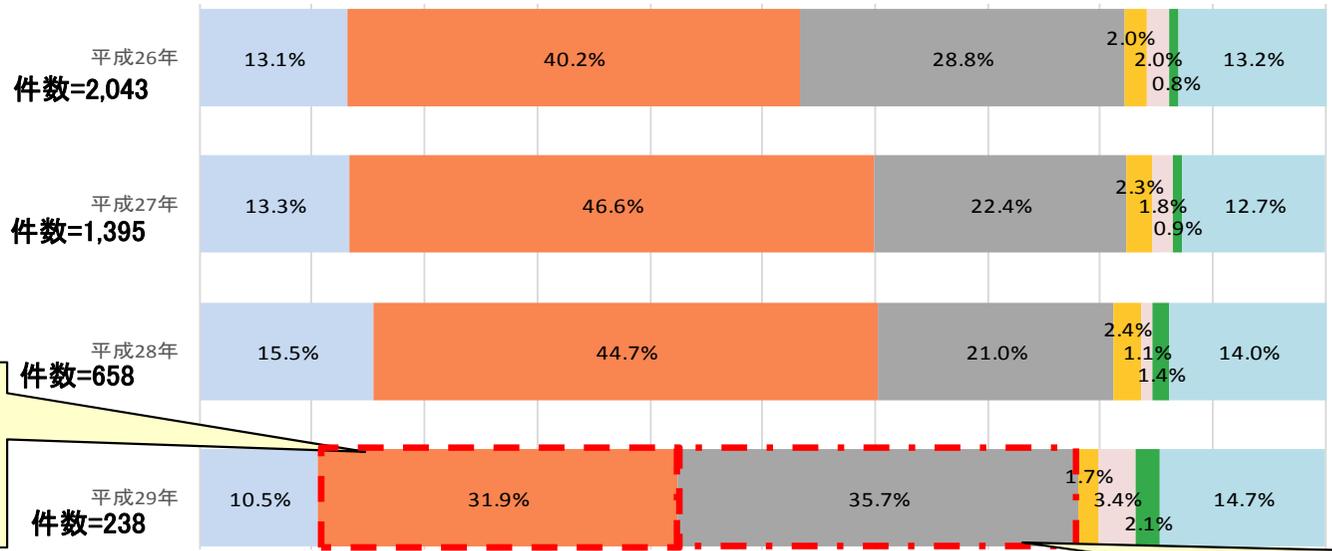
■ 1.知っていた ■ 2.知らなかった ■ 3.無回答



認知度は約6割と向上している。

## 【パーク&ライドを知ったきっかけ(広報媒体)】

- チラシ・ポスター
- 屋外の看板
- ホームページ
- 新聞・雑誌・パンフレット
- テレビのニュースや番組
- ラジオのニュースや番組
- その他



認知のきっかけとして、「屋外の看板」が約3割

認知のきっかけとして、「京都市ホームページ」が約4割

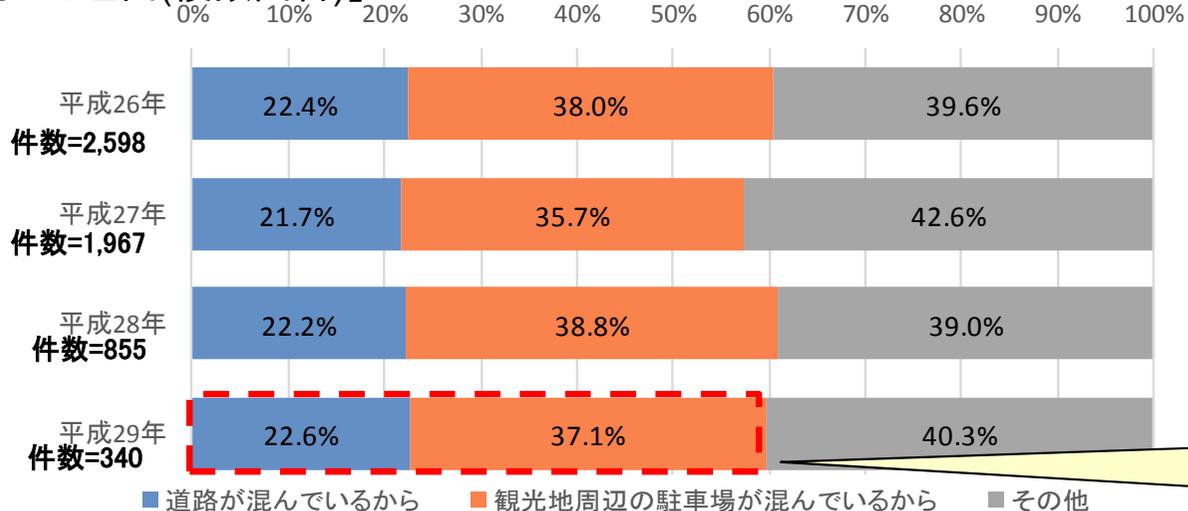
出典:京都市とりまとめ資料(H29:第44回 嵐山交通対策研究会、第34回 東山交通対策研究会 資料)

### 3. ソフト施策実施による効果検証(臨時P&R利用者アンケート:京都市)

○パーク&ライドを利用した理由として、「道路が混んでいると思ったから」と回答した方は約2割となっており、「観光地周辺駐車場が混んでいるから」と回答した方をあわせると約6割を占める。  
 ○満足している、どちらかという満足していると答えた方は全体の約9割を占め、例年とほぼ同程度である。

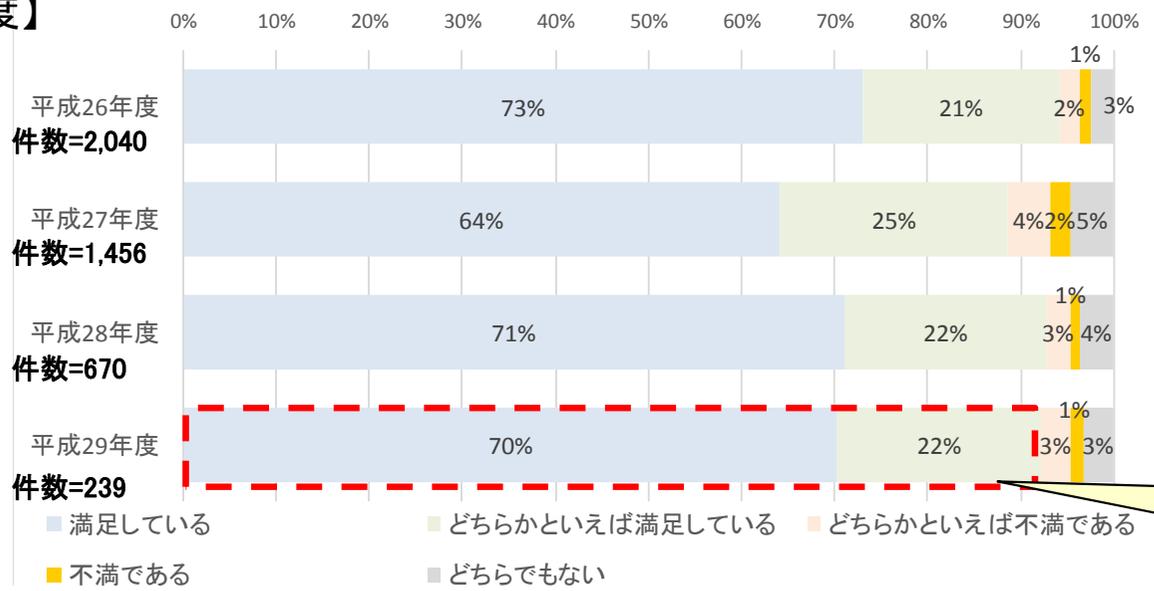
※P&R駐車場利用者へのアンケート結果

【パーク&ライドを利用した理由(複数回答)】



道路及び観光地周辺駐車場の混雑を理由にパーク&ライドを利用した方が約6割

【パーク&ライドの満足度】

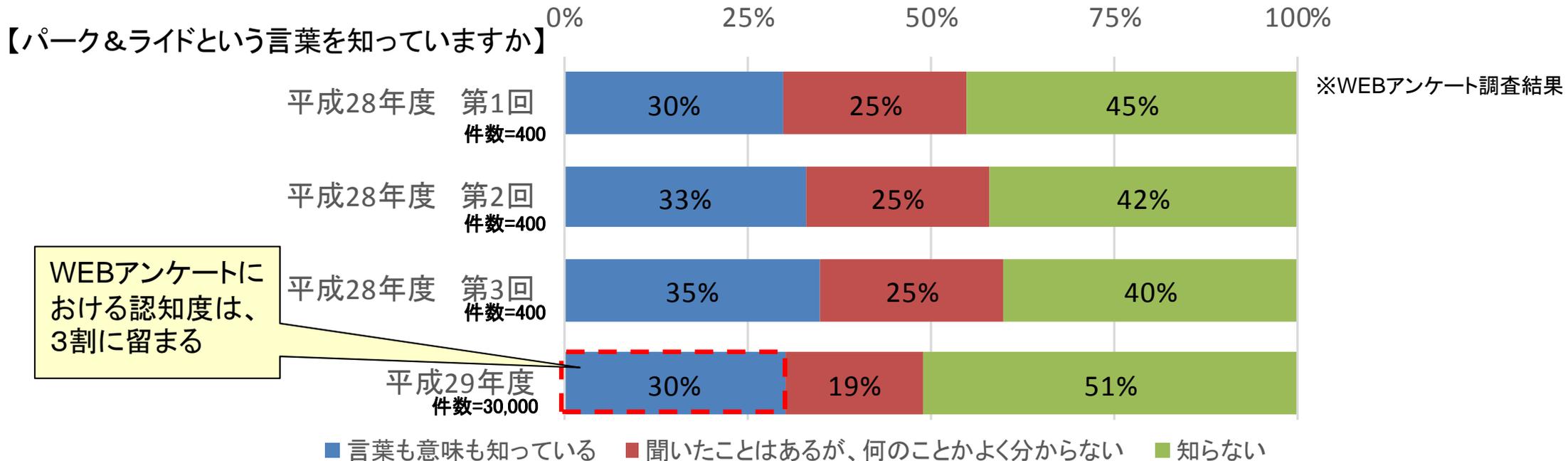


満足/どちらかといえ満足と答えた方は約9割

出典:京都市とりまとめ資料(H29:第44回 嵐山交通対策研究会、第34回 東山交通対策研究会 資料)

### 3.ソフト施策実施による効果検証（WEBアンケート調査結果：京都市）

- WEBアンケートでは、パーク&ライドという言葉も意味も知っている方の割合は3割に留まっている。
- パーク&ライドの認知度が伸び悩んでいることから、より広く周知広報することで秋の観光シーズンにおける利用促進を図る必要がある。



#### 平成28年度調査

##### 【調査時期】

- 第1回(施策実施前): 平成28年9月14日～9月16日(広報・誘導等実施前)
- 第2回(施策開始直後): 平成28年11月10日～11月11日(広報・誘導等開始直後)
- 第3回(施策期間終盤): 平成28年11月28日～11月29日(秋の交通対策期間直後)

##### 【調査方法】

Webモニター調査(関東・北陸、近畿・東海、中国、四国、全年代)

##### 【調査概数】

400サンプル/回  
近畿・東海(コアエリア)55%、関東・北陸20%、中国15%、四国10%

#### 平成29年度調査

##### 【調査時期】

平成30年1月11日～1月15日

##### 【調査方法】

Webモニター調査(関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、全年代)

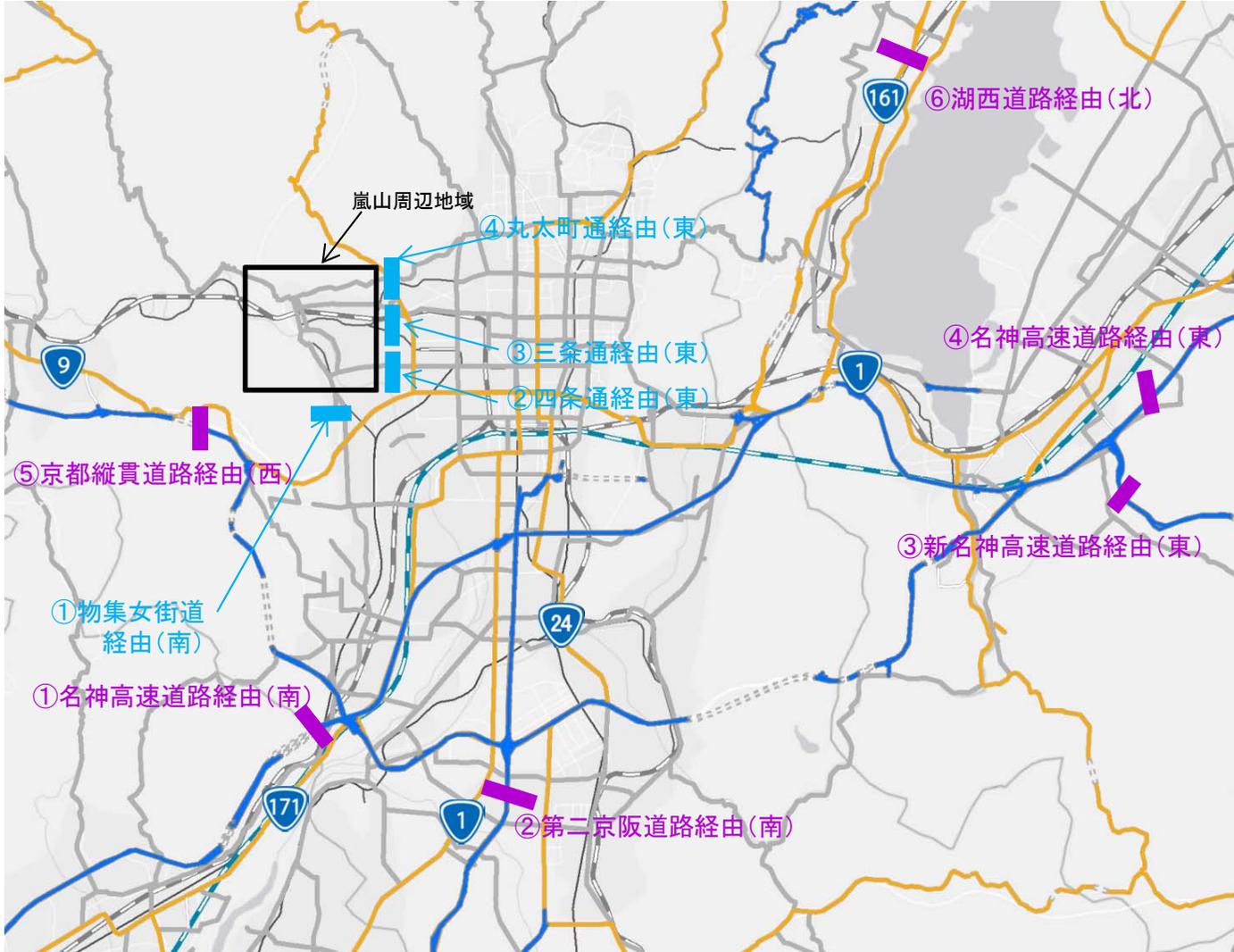
##### 【調査概数】

30,000サンプル  
兵庫県18%、大阪府14.3%、愛知県13.7%、  
京都府10.3%、東京都9.3%

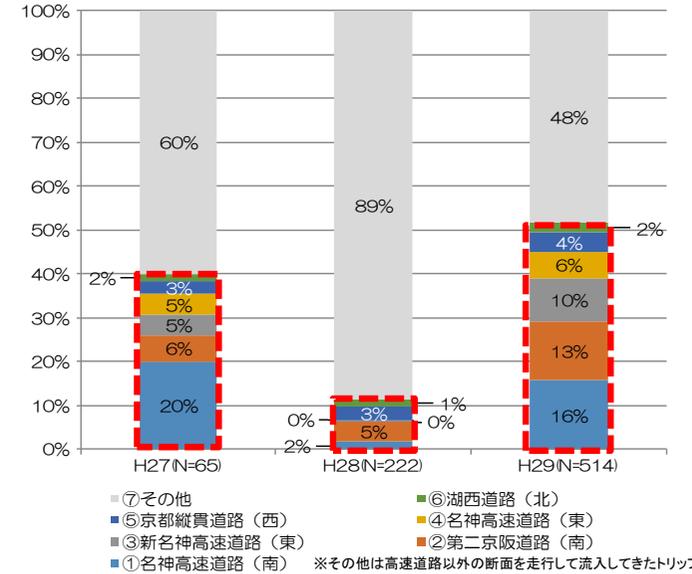
# 4. ETC2.0分析による効果検証(嵐山地区)

○嵐山周辺地域来訪者の利用経路をみると、H28年と比べて県外から高速道路等を利用する来訪者の割合が増加している。  
 ○嵐山周辺の道路では、丸太町通利用の割合が増加している。一方、四条通利用の割合は減少している。

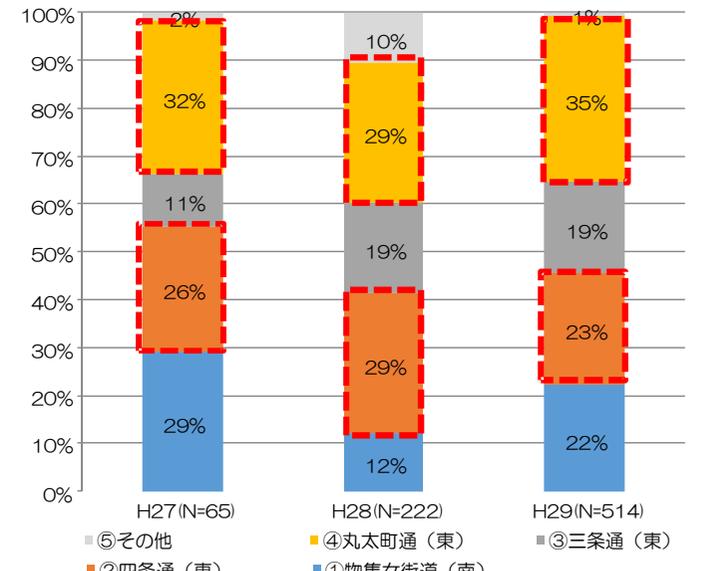
■嵐山周辺地域来訪者の利用経路を把握するための断面(高速道路)



※資料: ETC2.0データで嵐山周辺地域に終点をもつトリップデータを抽出し、集計  
 ※嵐山周辺地域を起点とするトリップデータを除く  
 ※ H27. 11月休日5日分 (H27.11.21(土)~11.23(月・祝), 11.28(土)~11.29(日)) N=65  
 H28. 11月休日5日分 (H28.11.19(土)~11.20(日), 11.23(水・祝), 11.26(土)~11.27(日)) N=222  
 H29. 11月休日5日分 (H29.11.18(土)~11.19(日), 11.23(木・祝), 11.25(土)~11.26(日)) N=514



▲嵐山周辺地域来訪者の利用経路の比較(高速道路等)

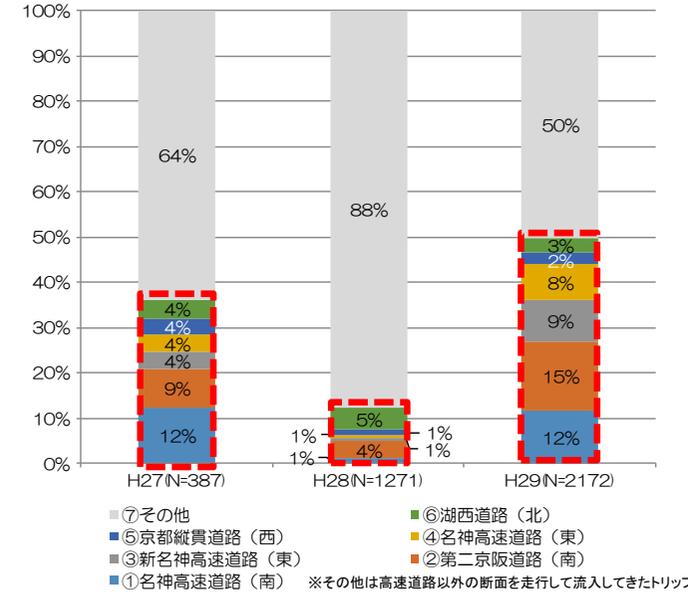
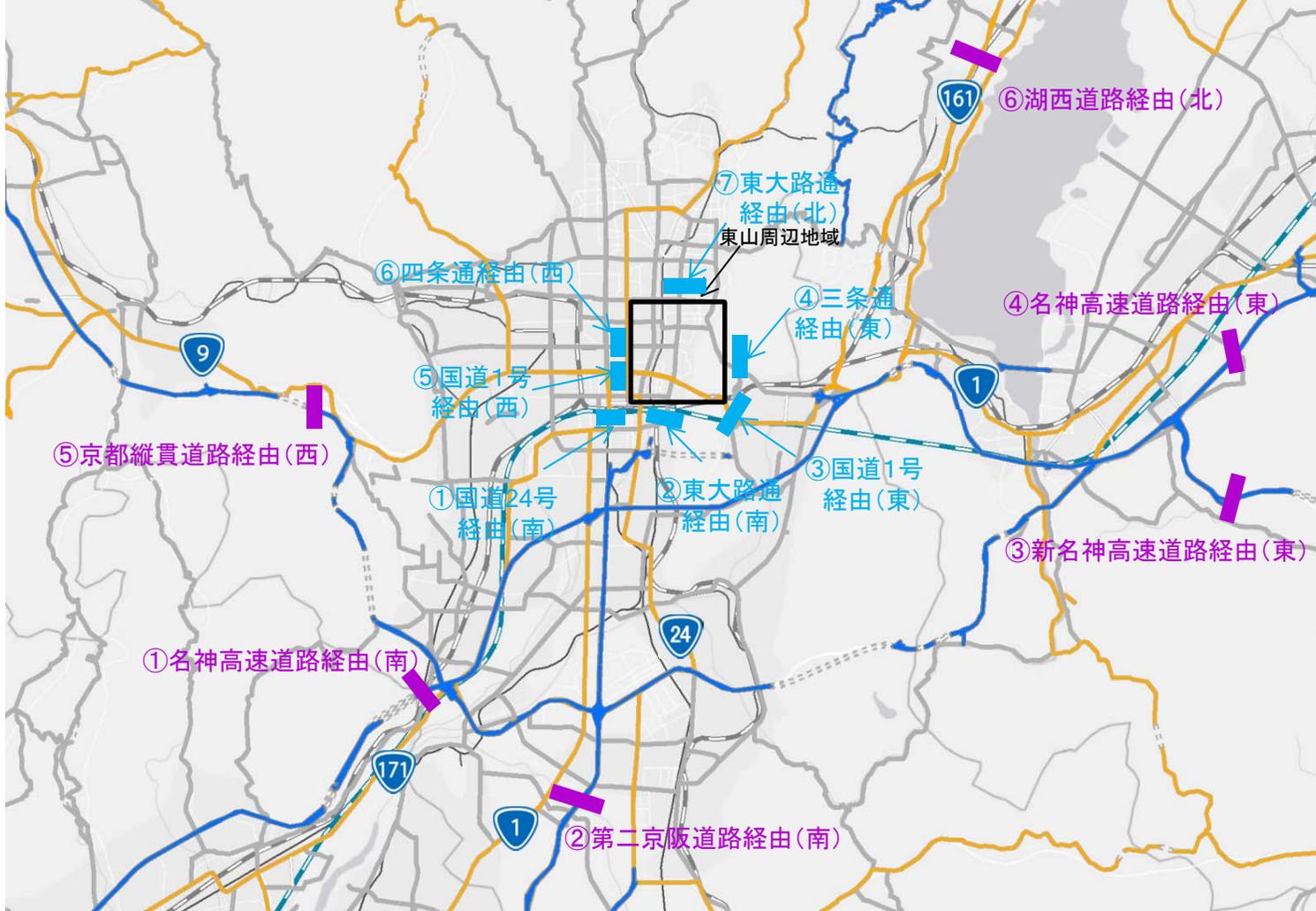


▲嵐山周辺地域来訪者の利用経路の比較(嵐山周辺道路)14

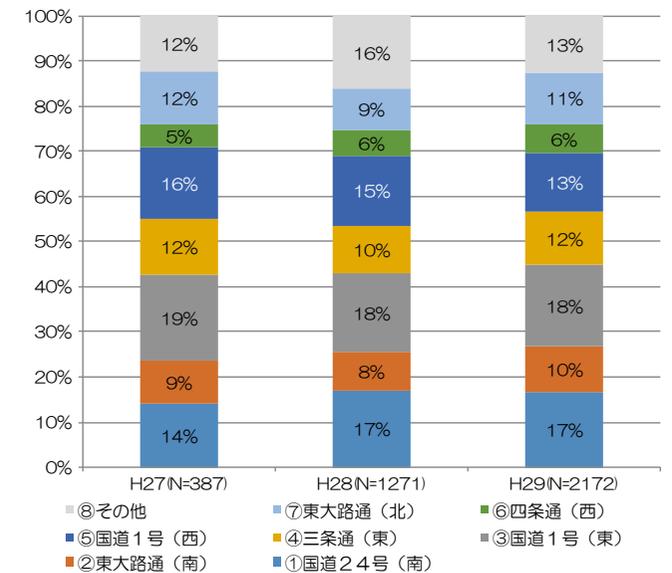
# 4. ETC2.0分析による効果検証(東山地区)

○東山周辺地域来訪者の利用経路をみると、H28年と比べて県外から高速道路等を利用する来訪者の割合が増加している。  
 ○東山周辺の道路では、利用経路はH27～29年を通じて概ね同様の傾向となっている。

■東山周辺地域来訪者の利用経路を把握するための断面(高速道路)



▲東山周辺地域来訪者の利用経路の比較(高速道路等)



▲東山周辺地域来訪者の利用経路の比較(東山周辺道路) 15

※資料:ETC2.0データで東山周辺地域に終点をもつトリップデータを抽出し、集計

※東山周辺地域を起点とするトリップデータを除く

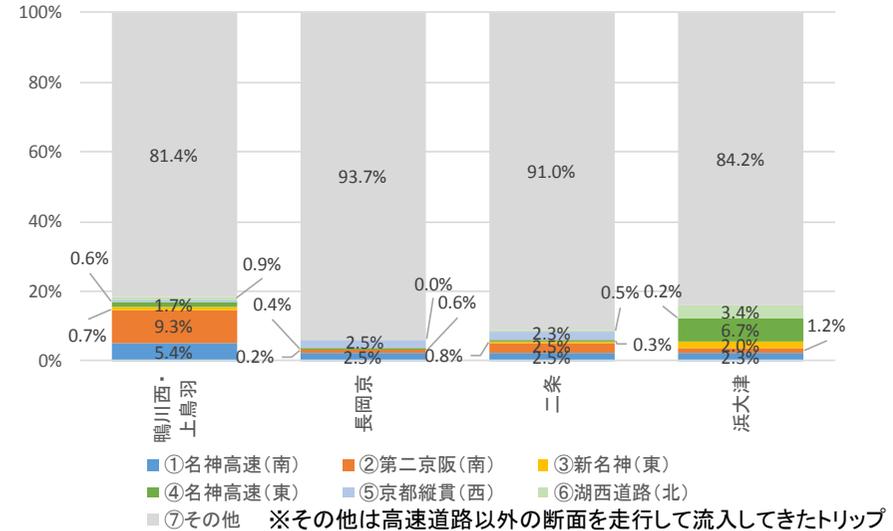
※ H27. 11月休日5日分 (H27.11.21(土)~11.23(月・祝)、11.28(土)~11.29(日)) N=387

H28. 11月休日5日分 (H28.11.19(土)~11.20(日)、11.23(水・祝)、11.26(土)~11.27(日)) N=1,271

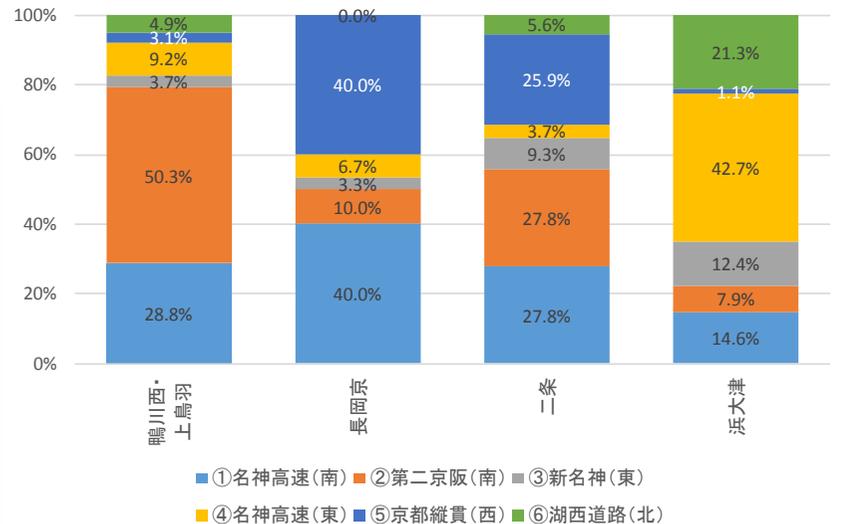
H29. 11月休日5日分 (H29.11.18(土)~11.19(日)、11.23(木・祝)、11.25(土)~11.26(日)) N=2,172

# 4.ETC2.0分析による重点利用促進駐車場の利用状況

- 各駐車場で当初利用が多いと想定されたICに対して、実際の利用状況を確認した。
- 上鳥羽・鴨川西では第二京阪の南断面や名神高速の南断面、長岡京では名神高速の南断面や京都縦貫の西断面、浜大津では名神高速の東断面からの利用が確認された。二条では名神高速の南断面や第二京阪の南断面、京都縦貫の西断面からの利用が確認された。
- 高速道路から最寄のICを経由してアクセスする交通に対して、より一層のP&R等の周知が必要である。



▲P&R利用者の高速道路利用割合  
※全サンプル数: 鴨川西・上鳥羽(878)、長岡京(475)、二条城(597)、浜大津(563)



▲利用した高速道路の割合  
※サンプル数: 鴨川西・上鳥羽(163)、長岡京(30)、二条城(54)、浜大津(89)

※ETC2.0データで各駐車場に終点をもつトリップデータを抽出し、集計  
※ H29. 11月休日5日分 (H29.11.18(土)~11.19(日)、11.23(木・祝)、11.25(土)~11.26(日))

## 5. 効果検証まとめ

効果検証の視点	評価指標	使用データ	検証結果
・P&R等のソフト施策の実施により、渋滞が改善した路線・地域があるか	・旅行速度	・ETC2.0データ	・嵐山、東山地区の主要渋滞箇所周辺では、依然として旅行速度が低下している。
・主要渋滞箇所、駐車場付近の混雑状況に改善がみられるか	・渋滞状況	・現地調査結果	・嵐山、東山地区の主要渋滞箇所周辺では、依然として渋滞が発生し、渋滞要因として、交通集中の他、歩行者の影響等様々な要因が認められる。
・P&Rに関して、人々の意識に変化があるか	・P&Rの認知度等 ・P&R利用者満足度	・アンケート調査結果 ・WEBアンケート調査結果	・HP、屋外看板等が認知のきっかけになっている。 ・継続的な広報により、P&Rの利用者では、認知度がやや向上し、満足度も高いが、P&R利用者以外の認知度は低いままである。
・自動車利用者の経路の変化があるか	・利用経路の変化	・ETC2.0データ	・嵐山、東山への走行経路の傾向に大きな違いはないが、高速道路利用は増加している。 ・重点利用促進駐車場においても、想定されたICの利用が確認された。

- 過年度と比較して、旅行速度や現地の渋滞状況、自動車利用者の経路に関しては大きな変化はなかった。
- P&R駐車場利用者のP&R認知度は年々上昇傾向にあり、HPや屋外看板等による周知が一定の効果を上げ、満足度も高いが、P&R駐車場利用者以外の認知度は依然低いままである。
- より広い対象へP&R駐車場の認知を促し、P&R駐車場の利用促進を図っていく。
- 引き続き、交通の詳細な動態を把握するための各種調査やETC2.0による分析等を実施していく。